

論文番号 72

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名 (原題/訳)

Effect of alcohol intake on bone mineral in elderly women : The EPIDOS study

女性高齢者でアルコール摂取が骨塩量に与える影響 : EPIDOS 研究

執筆者

Ganry O, Baudoin C, Fardellone P for the EPIDOS Group

掲載誌 (番号又は発行年月日)

Am J Epidemiology 2000; 151:773-780

キーワード

高齢者、飲酒、骨密度、骨粗鬆症、女性

要旨

多量飲酒は骨密度の低下を来すことはよく知られている。しかし、中等度の飲酒、あるいは、通常の飲酒量では好影響があるとの報告もあり、高齢者女性の飲酒習慣と骨密度との関係について疫学調査を実施した。

対象者はフランスの5センターが、7,598名の非入所の75歳以上の高齢者を調査した。平均年齢は79.9歳。選挙人名簿や保健医療情報名簿より、無作為に抽出した対象者に、各センターが1,500人に達するまで募集した。大学病院で対象者は問診、検査等を受けた。アルコールに関する調査は自答式であり、対象者は1日に何回、どのようなアルコール飲料を何杯飲むかを回答した。また、骨密度は、二重光子エックス線吸収法にて、右大腿骨体、大腿骨頸部、大転子部、等を測定した。脊椎骨密度は測定しなかった。年齢、体重、身長を調整して骨密度が計算された。非飲酒者に対して、11-29g/日の純アルコール摂取者は、大転子部の骨密度が有意に高かった。それより少なくとも、多くても骨密度は高くなかった。この関連は、エストロゲン補充療法者、摂取カルシウム、喫煙状況、身体活動度、教育歴、世帯収入、一般的健康度、等とは関連していなかった。

大腿頸部骨密度と飲酒量とは関連がなかった。大腿部骨体骨密度はアルコール30g/日以上飲酒者では低下した。

この調査より、中等度の飲酒は高齢者女性の骨密度増加と関連している可能性があるとし、高度の飲酒は骨密度を低下させるとした。